



2024年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年12月12日

上場会社名 日東製網株式会社
コード番号 3524 URL <https://www.nittoseimo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部本部長 (氏名) 北方 浩樹
四半期報告書提出予定日 2023年12月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 084-953-1234

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第2四半期の連結業績(2023年5月1日～2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	9,983	17.4	155		473	148.4	295	142.8
2023年4月期第2四半期	8,500	10.1	10		190	925.1	121	

(注) 包括利益 2024年4月期第2四半期 376百万円 (115.5%) 2023年4月期第2四半期 174百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	113.84	
2023年4月期第2四半期	46.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年4月期第2四半期	29,759	6,708	22.0	2,521.28
2023年4月期	28,223	6,461	22.3	2,427.38

(参考) 自己資本 2024年4月期第2四半期 6,538百万円 2023年4月期 6,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期		0.00		50.00	50.00
2024年4月期		0.00			
2024年4月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	3.6	500	81.4	450	9.4	200	293.8	77.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年4月期2Q	2,605,000 株	2023年4月期	2,605,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年4月期2Q	11,597 株	2023年4月期	11,597 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年4月期2Q	2,593,403 株	2023年4月期2Q	2,593,403 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ペ - ジ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に変更されたことに伴い、行動制限がなくなり、インバウンド需要も回復基調にあり、経済活動の正常化が進みました。しかしながら、ウクライナ情勢やイスラエル・パレスチナ情勢の深刻化、資源価格や原材料価格の高騰、円安の進行、急激な物価上昇等もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少やALPS処理水放出の影響が懸念される状況となっており、燃油価格の高騰、資材や物流コストの上昇等により、事業収益は圧迫されております。しかし、一部の魚種では漁獲量や魚価の回復が見られ、外食産業向けの魚や水産物の需要も増加しております。ばらつきはあるものの国内の漁船漁業者は、漁業資材等の設備投資意欲が戻ってきております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、漁業者の投資意欲回復に伴い、定置網部門や旋網部門の売上高が増加しました。また、陸上部門でも獣害防止ネットや陸上ネットの施工工事の受注が堅調であったこと等から前年同期と比べて売上高は増加しました。営業利益は、海外の生産拠点を含め、原材料が上昇したことに加え、人件費や新事業所関連の減価償却費等のコスト増加がありましたが、漁業部門の売上高が増加したことや適正な在庫を確保し、お客様のニーズに合った製商品の短納期化を推進したこと等により、前年同期と比べて増加しました。また、営業外収益として、円安による為替差益及び生命保険や漁獲共済等の受取保険金が発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,983百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は155百万円（前年同期は10百万円の営業損失）、経常利益は473百万円（前年同期比148.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は295百万円（前年同期比142.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[漁業関連事業]

売上高は8,433百万円（前年同期比21.7%増）となりました。主な要因は、水産物の価格の上昇や需要の増加等により、定置網部門や旋網部門等の受注が堅調となり、売上高は増加しました。利益面は、原材料が上昇したことに加え、人件費や新事業所関連の減価償却費等のコストは増加しましたが、定置網部門を含め漁業関連事業全般の売上高が増加したことにより、セグメント利益は227百万円（前年同期は29百万円のセグメント損失）となりました。

[陸上関連事業]

売上高は1,549百万円（前年同期比1.2%減）となりました。主な要因は、獣害防止ネットや落石防止ネット、陸上ネットの施工工事の受注は堅調でしたが、防虫網の受注が低調となったことにより売上高は減少しました。利益面は、売上高の減少と人件費等のコストが増加したことにより、セグメント損失は72百万円（前年同期は19百万円のセグメント利益）となりました。

[その他]

当第2四半期連結累計期間では、ほぼ取引はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,536百万円増加し、29,759百万円となりました。その主な内容は、以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,404百万円増加し、16,507百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ131百万円増加し、13,251百万円となりました。これは、土地の取得により有形固定資産が増加したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,563百万円増加し、14,704百万円となりました。これは、短期借入金が増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ274百万円減少し、8,346百万円となりました。これは、長期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ246百万円増加し、6,708百万円となりました。これは、利益剰余金とその他の有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2023年6月9日に公表いたしました2024年4月期の連結業績予想に変更はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,541	1,334,610
受取手形及び売掛金	6,398,936	7,023,117
商品及び製品	5,206,429	5,646,629
仕掛品	795,416	913,335
原材料及び貯蔵品	1,290,340	1,329,892
その他	269,600	301,041
貸倒引当金	△29,971	△40,712
流動資産合計	15,103,293	16,507,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,394,839	7,331,811
土地	2,489,612	2,628,188
建設仮勘定	181,472	354,962
その他（純額）	1,477,573	1,354,507
有形固定資産合計	11,543,498	11,669,469
無形固定資産		
のれん	104,153	94,612
その他	84,636	79,995
無形固定資産合計	188,790	174,608
投資その他の資産		
長期営業債権	1,060,033	1,047,375
繰延税金資産	313,528	204,062
その他	922,284	1,108,462
貸倒引当金	△908,339	△952,461
投資その他の資産合計	1,387,506	1,407,439
固定資産合計	13,119,795	13,251,516
繰延資産	45	6
資産合計	28,223,134	29,759,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,014,447	1,978,355
電子記録債務	1,865,008	1,794,589
短期借入金	7,704,571	9,248,844
未払法人税等	69,301	97,066
賞与引当金	261,665	295,971
その他	1,226,135	1,289,929
流動負債合計	13,141,130	14,704,757
固定負債		
長期借入金	7,594,785	7,404,445
長期末払金	14,215	11,002
役員退職慰労引当金	310,087	213,256
退職給付に係る負債	478,928	505,490
繰延税金負債	103,982	103,982
その他	118,229	107,991
固定負債合計	8,620,228	8,346,168
負債合計	21,761,359	23,050,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,540	510,540
利益剰余金	4,513,497	4,679,058
自己株式	△18,094	△18,094
株主資本合計	6,384,768	6,550,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,111	121,319
為替換算調整勘定	△155,708	△132,955
その他の包括利益累計額合計	△89,596	△11,635
非支配株主持分	166,603	169,819
純資産合計	6,461,775	6,708,513
負債純資産合計	28,223,134	29,759,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年10月31日)
売上高	8,500,640	9,983,346
売上原価	6,787,012	8,039,156
売上総利益	1,713,628	1,944,189
販売費及び一般管理費	1,724,438	1,788,749
営業利益又は営業損失(△)	△10,810	155,440
営業外収益		
受取利息	9,896	11,267
受取配当金	5,391	5,757
固定資産賃貸料	22,841	22,958
保証債務費用戻入額	63,806	-
持分法による投資利益	33,687	26,747
為替差益	149,887	166,282
受取保険金	21,782	113,310
その他	45,832	48,537
営業外収益合計	353,127	394,860
営業外費用		
支払利息	41,217	41,989
手形売却損	4,106	4,398
保証債務費用	-	8,672
減価償却費	92,460	-
その他	13,874	21,566
営業外費用合計	151,658	76,626
経常利益	190,658	473,673
特別損失		
解体撤去費用	18,137	2,454
特別損失合計	18,137	2,454
税金等調整前四半期純利益	172,520	471,219
法人税、住民税及び事業税	49,971	87,086
法人税等調整額	△94	85,687
法人税等合計	49,877	172,773
四半期純利益	122,643	298,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,058	3,215
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,585	295,230

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	122,643	298,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,784	55,208
為替換算調整勘定	75,445	61,038
持分法適用会社に対する持分相当額	△21,661	△38,285
その他の包括利益合計	51,998	77,961
四半期包括利益	174,641	376,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,585	373,192
非支配株主に係る四半期包括利益	1,055	3,215

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,928,793	1,568,715	8,497,508	3,131	8,500,640
外部顧客への売上高	6,928,793	1,568,715	8,497,508	3,131	8,500,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,928,793	1,568,715	8,497,508	3,131	8,500,640
セグメント利益又は損失(△)	△29,156	19,356	△9,800	△1,009	△10,810

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,433,313	1,549,548	9,982,862	484	9,983,346
外部顧客への売上高	8,433,313	1,549,548	9,982,862	484	9,983,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,433,313	1,549,548	9,982,862	484	9,983,346
セグメント利益又は損失(△)	227,671	△72,095	155,575	△135	155,440

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。